

感染制御学領域・滅菌供給管理学領域

感染制御の文化と一緒に醸成していきませんか！

感染管理は多職種連携により行われます。本領域には、職種・業種の異なる仲間が共に学んでいます！医師、看護師、臨床検査技師、薬剤師に加え、基礎科学を背景とする教員が連携して皆様の研究活動をサポートします。

良質な医療構築のために・・・



あなたはどのフェーズをターゲットに
研究を行いたいですか？

臨床現場での実践における課題解決に向けた研究を行います

基礎感染制御学で開発・構築された基盤技術と臨床現場での実践との橋渡し研究を行います

感染制御の実践において、基盤となるエビデンスの構築・技術開発を行います

在学生・修了生からの声をご紹介します！

・研究で悩んでいると、どこで悩んでいるのか、解決するにはどうすればよいか等、指導教員よりの確かなアドバイスがもらえました。

・研究ゼミで、自身の研究発表だけではなく、同じ院生の研究発表を聞いて、日常業務では気づくことができない新たな発見が非常に多く、視野が広がりました。

・「研究」の楽しさに導いてくれた「先生」、人生で一番尊敬できる「先生」と巡り会えた。

・働きながら、子育てしながら、やる事がいっぱいでも、修了してみると達成感が半端なかったです。修士課程での経験は、臨床での働き方に良い影響を与えていると思います。

・一つのことを追求していくことは大変ですが、仲間の支えで成し遂げられました。

・大変なことも多いですが、修士課程・博士課程の院生が集う場面が多く、考え方が違う方との議論がとてもためになりました。

・自分の決めた研究テーマを具現化するために、実験手技や考え方を身につける必要がありました。これは自分の職業（看護）の経験では実現できませんでした。専門科目の授業や先生方からの指導を通して、仕組みが理解でき、自分の研究に役立てることが出来ました。

・先生方の手厚いサポートで、一つ一つ積み上げていくことの大切さを学びました。



東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科

〒141-8648 東京都品川区東五反田4-1-17

TEL 03(5421)7685 ☒ info-master@thcu.ac.jp

五反田
キャンパス

入試情報



個別相談お申込み



感染制御学領域・滅菌供給管理学領域の専門科目

必修科目：感染制御学の礎を醸成します

● 感染制御学総論

感染制御に関わる歴史や法律、感染症の医学的知識として感染症内科や手術部位感染、感染制御の視点での病院設備設計、洗浄・消毒・滅菌の原理、職業感染防止策と個人防護具について体系的に学習します。

● 感染制御学輪講

感染制御に係る英語の原著論文を読み、最先端の研究について理解を深めます。

修了生の声：英語論文の読み方を基礎から学ぶことができ、日本語の論文を読むよりも、ずっと深く研究内容を理解することができました。

● 微生物学総論

感染症の原因となる病原微生物(細菌・真菌・原虫・ウイルス)の基本的特徴、宿主となるヒトの免疫、感染症治療において重要な抗菌薬を体系的に学習します。

● 感染制御学研究特論I～IV

感染制御学領域での研究対象の設定から研究の進め方、実施方法、まとめ方等に対して、領域横断的な指導も行う。

修了生の声：看護職は実践報告や業務改善等と混同しやすいため、研究の計画立案から論文作成まで「大学院で研究すること」を体系的に学べました。

選択科目：専門性をさらに高めます

- 感染実践制御学I【感染制御マネジメント論】
- 感染実践制御学II【医療機器・消毒薬等の管理論】
- 臨床微生物学特論
- 医療機器学特論
- 周手術医療安全管理学特論

修了生・在学生の職種：
看護師
・感染管理認定看護師
・感染制御実践看護師
・手術室認定看護師など
臨床検査技師
歯科医
歯科衛生士
感染制御関連企業の社員
第1種滅菌技師
第2種滅菌技士

感染制御学領域での論文研究スケジュール

1年生												2年生											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入学	研究課題の決定	進捗報告会		進捗報告会			進捗報告会			領域内中間報告		研究科中間発表		進捗報告会		領域内審査		論文執筆		論文審査		領域内最終発表	学位授与